

広報委員 放浪記



余目駅

◆撮影場所 第二学区

今回は最後に相応しく余目駅を取り上げてみました。
余目駅は大正3年余目駅として華々しく誕生し、平成26年には100周年を迎えました。東京駅と全く同い年です!! 駅の開業にあたっては、陸羽西線と羽越線の合流地点をどこにするかについて激しい争奪戦が行われ、当時の有力者が奔走されて現在の余目駅となりました。駅を出ると町推奨木でもあるイチョウの並木が出迎えてくれます。
昭和50年当時には駅の両歩道の並木にイルミネーションを飾り、広場ではやままつりと並行して、鹿野ショーや地元有志の歌謡ショーを設け豚汁を食べながら近郊近在の人々に喜びを与えてきました。駅舎は今でも姿をそのままに毎日の乗降客を見つめています。



●取材/広報委員 兼

選抜高校野球

◆桑田集落 太田陽都さん

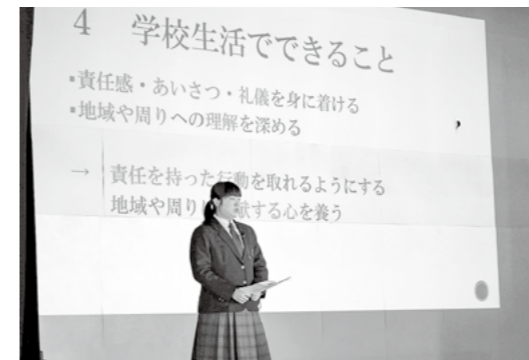
3月19日に阪神甲子園球場で開幕するセンバツに出場する鶴岡東2年生の太田陽都くんを紹介します。
陽都くんは4歳上のお兄ちゃんが野球のスポーツ少年団に入団しているのがきっかけで、小学2年生の時から野球をはじめました。集落の先輩や同級生と一緒に野球をしていたので、たまにキャッチボールをしている姿を見かけました。中学生の時は朝会うと必ず「おはようございます」のあいさつをしてきました。
選抜に出場が決まったの目標は「勝つために自分の役割を果たす。一戦一戦に集中し、アウトを積み重ねて勝利に貢献したい」をモットーに頑張るそうです。地域の星として、みんなで応援しましょう。



小学生時代の太田さん

●取材/広報委員 兼

1/22 庄内総合高校 総合学科発表会



各学年の代表が全校生徒や地域住民の前で、目指す大人像のために頑張りたいことや自己課題解決に向けた提言など、高校生活で学んだ成果を発表しました。

1/27 町指定文化財 余目八幡神社 文化財防火デー 消防訓練



余目八幡神社で、火事ぶれ、119番通報、訓練用水消火器を使用した消火訓練など、地元住民による消防訓練や消防署余目分署による放水訓練が行われました。



みなさんおめでとうございます

園部杏莉さんが農林水産大臣賞を受賞

園部杏莉さん(余目三小6年・廿六木)が、第44回「ごほん・お米とわたし」作文・図画コンクールの作文部門2部(小学校4年~6年)で、全国5万660点の応募の中から見事農林水産大臣賞を受賞しました。
作品は「庄内米は最高のお土産」と題し、東京のおじさんへ渡すお土産が「庄内米」であることに恥ずかしさを感じていた園部さんが、おじさん夫婦の喜ぶ言葉や実際にお米を食べると懐かしい気持ちになった経験から、憧れていた都会の風景と対比した故郷の豊かさや魅力に気付いていくようですが、感受性豊かな情景描写で書かれています。
園部さんは「本を読むことや文章を書くことが大好き。書きたいことが溢れてきて原稿用紙にまとめることが大変だった」と笑顔で話していました。



阿部勇純さんが全国道場少年剣道選手権に出場



12月22日に新潟県で行われた第54回全国道場少年剣道選手権に阿部勇純さん(余目中学校3年・緑町(余目))が出場しました。
小学校1年生から剣道をやっていたという阿部さんは、昨年5月に行われた山形県道場少年剣道大会の個人戦でトーナメントを勝ち上がり、見事全国大会出場を決めました。
「1つ1つの試合に勝って上位を目指したい。1番は楽しむことを目標に、精一杯頑張りたい」と力強く決意を述べていました。



紙面構成変更のお知らせ

広報しょうない2020年4月1日号より、紙面構成については次のとおり変更となります。今後とも見やすい紙面作りを心掛けてまいりますので、ご愛読よろしくお願いたします。

<1日号>

- 「各種相談コーナー」の新設(定期的に行われる相談会などをわかりやすくまとめて掲載します)
- 「広報委員放浪記」の終了
- 「クラッセ定期便」の終了 隔月で掲載していた「タチラボコーナー」を通年掲載

<15日号>

- 「Information◎庄内町の情報」を1日号へ移動
- 「心配ごと相談所開設日」を1日号へ移動
- 「総合体育館トレーニング室利用者講習会」を1日号へ移動

■問合せ:企画情報課情報発信係 ☎0234-42-0157